

各関係機関団体の長 }
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 3 年度病虫害発生予察速報第 1 号について

このことについて、病虫害発生予察速報第 1 号（イネ縞葉枯病）を発表したので送付します。
ヒメトビウンカ越冬虫のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は、近年低下傾向にあります。今後のヒメトビウンカの発生量によっては、発病が多くなる可能性がありますので、適切な防除指導をお願いします。

速報 第 1 号

- 1 対象作物：水稲
- 2 病虫害名：縞葉枯病
- 3 発生地域：県下全域
- 4 速報の根拠

令和 3 年 5 月に県内 14 地点の小麦ほ場でヒメトビウンカの第 1 世代幼虫を採集し、イネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率を簡易エライザ法で検定した。その結果、保毒虫率は平均 0.2%と前年同様に低い水準であった（図、表）。

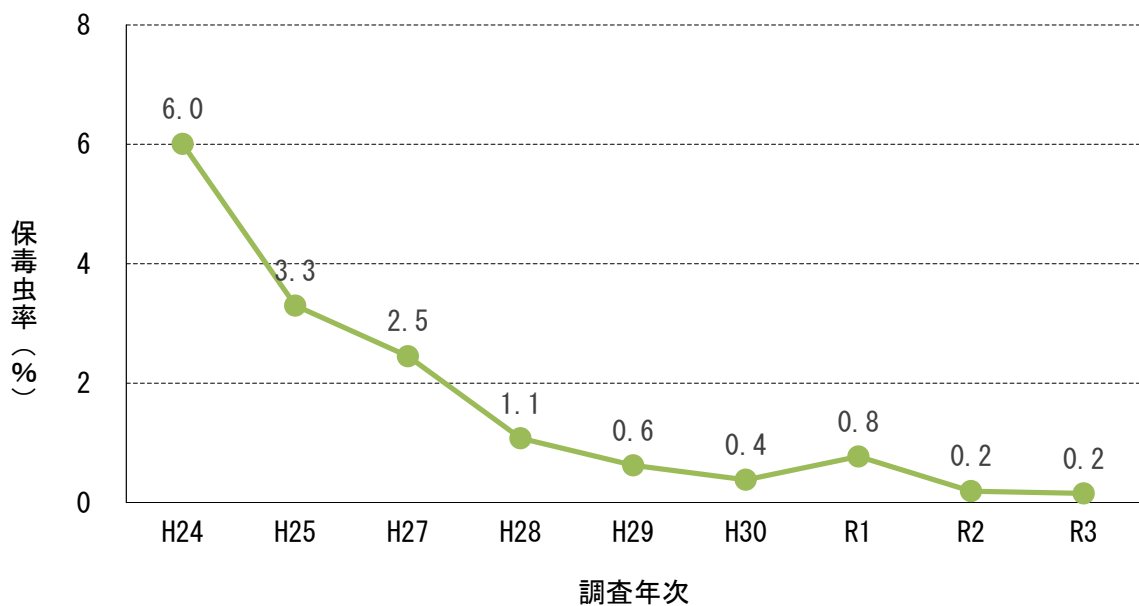


図 ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率の推移
(第 1 世代幼虫：小麦ほ場採集)

注) H26年は欠測のためデータなし

表 検定地点別のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率及び保毒虫確認ほ場率

検定地点	検定虫数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)
筑紫野市山家*	5	0	0
宗像市朝町	36	0	0
糸島市二丈松末*	12	0	0
久留米市宮ノ陣町	94	0	0
小郡市力武*	7	0	0
うきは市浮羽町山北	94	0	0
朝倉市馬田	57	0	0
筑前町栗田*	8	0	0
嘉麻市中益*	18	0	0
糸田町嵐ヶ池	94	1	1.1
柳川市大浜町*	20	0	0
筑後市若菜	94	0	0
大川市諸富	77	0	0
築上町椎田*	8	0	0
平均保毒虫率 (%)			0.2
保毒虫確認ほ場率 (%)			14.3

注1) 平均保毒虫率及び保毒虫確認ほ場率は、検定虫数が30頭以上の調査地点のみで算出。

注2) 表中の*の地点は、平均保毒虫率及び保毒虫確認ほ場率の算出から除いている。

5 防除上注意すべき事項

5月下旬～6月上旬移植のほ場では、今後のヒメトビウンカの発生に注意し、発生が多い場合や前年度縞葉枯病が多発した地域では、本田での薬剤防除を実施する。

病虫害防除所のホームページでは、各種病虫害の発生状況を随時更新しています。
発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

- 福岡県病虫害防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①



最新の病害虫発生状況

- Twitter (ツイッター) で定期情報や警報の発出のお知らせを始めました。

Twitterの本アカウント (福岡県農作物病虫害情報) へのアクセス

URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右 QR コード②

